

## 実践団体情報

記入日	西暦 2022 年 1 月 17 日 (2021 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	岡山大学教育学部・酒向研究室
代表者名	酒向治子
プラン全体のタイトル	ダンスを用いた防災教育「ぼうさい PiPit ! ダンス」
電話番号	086-251-7667
メールアドレス	sakou-h@okayama-u.ac.jp
実践団体の説明	身体表現(ダンス)を専門とする本研究室では、学生が企画・運営の主体となり、身体表現が持つ社会的機能を活用した取り組みとして、本プランの防災ダンスの活動を始め、市民の健康を育むための「OKAYAMA! 市民体操(岡山市からの委託)」や、子供の創造性を育むための「白桃ダンス(岡山大学発ダンス支援教材)」の開発・普及啓発を積極的に行なっています。所属する学生のほとんどは、将来教員になることを志しており、これらの取り組みを通して、教壇に立つ際に必要となる力を身につけています。
所属メンバー	代表者：酒向治子(教授)／学生統括：吉村利佐子(研究生) 学生運営：薮井琴子・河島駿(修士 1 年)ほか 30 名
活動地域	岡山県
活動開始時期・結成時期	2019 年 4 月
過去の活動履歴・受賞歴	<p>■過去の活動歴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・OKAYAMA! 市民体操(岡山市からの委託)の開発及び普及啓発活動</li> <li>白桃ダンス(岡山大学発ダンス教育支援教材)開発及び普及啓発活動</li> </ul> <p>■受賞歴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2019 年度「学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト(岡山市)」審査員特別賞</li> <li>・2020 年度「1.17 防災未来賞『ぼうさい甲子園』(兵庫県)」UR レジリエンス賞</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度「第1回岡山大学SDGs推進表彰（President Award）」奨励賞</li> <li>・2021年度「1.17防災未来賞『ぼうさい甲子園』（兵庫県）」しなやか with コロナ賞</li> </ul>
--	--

<p>プラン全体の概要</p>	<p>本プランは、①<u>地域における共助の促進</u>、②<u>防災活動のイメージ向上</u>を目指した取り組みである。具体的には、キャラクターを活用したイメージ戦略（例：熊本県のくまモン）として、ダンスを用いた防災教育教材の開発と普及啓発活動を行なっている。（*開発教材「ぼうさいPiPit！ダンス」：「あんしんの森の住人 AJ」というキャラクターを中核に、歌や振り付けを創作している。地震防災に関する3つの心構え（助け合い・動けるように備える・身の回りの危険や備蓄を確認する）を、ダンスを通して身体を動かしながら学ぶことができる教材として2019年に開発。）</p> <p>2021年度は、この開発した教材を地域社会に広く普及するために、こくみん共済coopや岡山市などと、産官学地域連携体制により以下の活動に取り組んできた。</p> <p>【1】<b>地域での普及啓発活動</b>…大型商業施設で開催された防災イベントにおける教材のレクチャーと披露。</p> <p>【2】<b>学校教育現場でのオンラインを用いた教育実践</b>…高校生・大学生を対象としたリアルタイム型オンラインによる教育実践活動。</p> <p>【3】<b>学術論文の執筆・投稿</b>…教材が学習者に及ぼす効果の検証結果、及び、教材開発のプロセスをまとめた2本の論文を執筆・投稿。</p> <p>【4】<b>映像教材の開発</b>…教材を地域社会へ幅広く普及するための映像教材の撮影・DVD制作</p> <p>【5】<b>リーフレット・指導書の作成</b>…教材のテキスト教材としてのリーフレット、指導者に向けた指導書の作成</p>
-----------------	--

## プランの年間活動記録

	プランの立案と調整	活動準備	実践活動
4月	【1】こくみん共済 coop との打ち合わせ	【1】打ち合わせ・練習	【1】こくみん共済 coop 主催防災イベントでのレクチャー・披露
5月	【2】他大学との打ち合わせ（ぼうさい甲子園）	【2】発表準備（ぼうさい甲子園）	
6月			【2】ぼうさい甲子園オンライン企画での活動発表・披露
7月	【2】高等学校との打ち合わせ	【2】オンラインでの指導法の模索	【2】高校生へのオンラインレクチャー
8月		【3】論文執筆	【2】大学生へのオンラインレクチャー
9月	【4】出演者の募集・映像制作会社と打ち合わせ	【4】撮影機材の調達・絵コンテ制作	【3】論文投稿
10月			【4】映像教材撮影
11月	【5】小学校教員へのヒアリング調査		
12月		【4】映像編集 【5】リーフ・指導書の作成	
1月			【4】映像教材(DVD)の完成 【5】リーフ・指導書の完成
2月			
3月			



プラン全体の反省点・課題・感想	今年度は新型コロナウイルスの影響を受け、地域社会に直接出向いての教材の普及啓発活動は積極的に行えなかったことが悔やまれる。
今後の活動予定	・映像教材、リーフレット、指導書の全国的な配布 ・地域社会、学校教育現場での教育実践活動

## 実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2022 年 1 月 16 日 (2021 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	岡山大学教育学部酒向研究室
実践番号	1
タイトル	地域向けの防災教育普及活動 ～多世代交流型の防災イベントへの参加～
実践担当者名	河島駿

実践にかかった金額	ほぼ 0 円
実践の準備にかかった時間	1 ヶ月
実践活動を実施した日時	西暦 2021 年 4 月 17 日～西暦 2021 年 4 月 18 日
実践の所要時間	2 時間×2 日 = 4 時間
実践の運営側で動いた人の人数	15 人
防災教育の対象者の属性	幼児/保育園児/幼稚園児・小学生 (低学年)・小学生 (高学年)・中学生・高校生・地域住民
防災教育の対象者の人数	約 300 人
実践を行った都道府県と市区町村	岡山県 岡山市北区
実践を行った具体的な場所	イオンモール岡山 1F 未来スクエア
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	イベント出演キャラクターの手配 出演者の衣装 防災士による指導

達成目標	・防災ダンスを用いて、子供からお年寄りまでの幅広い世代が交流でき、また防災への関心を高めるきっかけとし肯定的なイメージを持ってもらうことを目指した。	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	かなり

<p>実践内容・方法</p>	<p><b>【活動概要】</b></p> <p>こくみん共済 coop 主催の「みんなのぼうさいフェスティバル」に出演し、2日間で延べ300人の観客の前で防災ダンスを披露した。</p> <p>本プロジェクトにおいて、多世代での交流イベントは初めてで、今回新たな試みとして、単に防災ダンスを行うのではなく、「学校で授業をしている際に、突然地震が発生する」といったシナリオを設け、また観客と一緒に防災ダンスを実践するなど双方向型に取り組めるような方法を用いて行った。</p> <p>授業中に地震発生する様子を再現</p>  <p>授業中に地震発生する様子を再現</p> <p>&lt;主なイベントの流れ&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①活動の紹介</li> <li>②授業時に災害発生の様子</li> <li>③災害発生時の適切な行動を参加者と一緒に考える</li> <li>④防災ダンスの動きの解説</li> <li>⑤全員でダンスを実践</li> </ol> <p>Shake out の動きの解説</p>  <p>Shake out の動きの解説</p> <p>イベントの詳細動画↓  <a href="https://youtu.be/vPZiXjdJAEQ">https://youtu.be/vPZiXjdJAEQ</a></p>	
<p>得られた成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代が交流するイベントでの活動は今回初の試みであり、コロナ禍での安全面に配慮し、対面で活動したことで、直接参加者の表情や活動に対する反応を伺うことができた。</li> <li>・コロナ対策として、実際に参加者同士で直接的に交流することはできなかったが、その中で出演者と参加者が一体となって取り組めるよう声かけや、演出等で工夫が見られた。</li> </ul>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>かなり</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>かなり</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<p>・イベントに参加したお客さんが小さな子供からお年寄りといった幅広い対象だったため、観客に向けた声かけや動きのレクチャーの際に苦勞した。</p>	

	・集客のターゲットを子供づれの家族に焦点をあて、ビールを配る際にマスコットキャラクターの着ぐるみと一緒にすることで、観客を増やす工夫を行った。
--	---

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	
関係者の説明	
関係者の連絡先	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	防災イベント関係者の皆様
伝えたい内容	<p>本プランは①世代間交流の促進と②防災への関心が低い人に対し、防災のイメージを肯定化することを目的に活動を行っています。今回の実践を通し、改めて多世代の人々が交流する場の重要性を認識し、今後継続的に活動を行っていきたいと考えております。</p> <p>現在岡山市内を中心に活動を行っていますが、今後防災に関するイベントを検討されていまして、是非とも御連絡頂きたいです。</p>

記入日	西暦 2022 年 1 月 21 日 (2021 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	岡山大学教育学部・酒向研究室
実践番号	2
タイトル	ぼうさい PiPit!ダンス「オンライン教育実践」に挑戦!
実践担当者のお名前	薮井 琴子

実践にかかった金額	ほぼ 0 円
実践の準備にかかった時間	数日
実践活動を実施した日時	西暦 2021 年 6 月~8 月
実践の所要時間	3 時間
実践の運営側で動いた人の人数	12 人
防災教育の対象者の属性	高校生・大学生
防災教育の対象者の人数	約 180 人
実践を行った都道府県と市区町村	岡山県岡山市
実践を行った具体的な場所	岡山大学教育学部
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	・パソコン (zoom、通信環境設定) に詳しい学生 ・防災ダンスを指導できる学生

達成目標	・コロナ禍によって人々の分断が促進される現代において、つながりを生むために、オンライン上においても、防災ダンスを実践する方法の確立を目指した。	
どの力を身につけようとしてきましたか?	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに

実践内容・方法	<p>1. オンライン環境設定概要</p> <p>Oweb 会議サービス zoom を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ zoom の指導者のビデオ画面を固定（通称ピン止め）するよう学習者に指示。</li> <li>・ 音楽と指導者の声が同時に聞くことができるように、指導者側の音声設定を「背景雑音の無効化」に変更する。</li> </ul> <p>2. 実施方法</p> <p>①画面共有にてリーフレットを提示し、防災ダンスの世界観や目的（3つの防災の心構えについて）を学習者に伝える。</p> <p>②画面共有にて PV（アニメ版）を同時視聴し、全体の内容や音楽を伝える。</p> <p>③実際に学習者と一緒に体を動かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに各セクションを順番に説明する。セクションの内容に応じて、学習者との発問を交えながら指導を行う。</li> <li>・次に音楽に合わせて全体を通して実践する。</li> <li>・指導の際には、話す速度を遅く、動きを画角内に抑えるなど、学習者に伝わりやすいよう工夫をした。</li> </ul> <p>④振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの防災の心構えについて復習を行う。</li> <li>・感想を全体に岡山大学教育学部授業受講生への</li> </ul> <p>オンライン防災教育の実施 共有し、学習者間の交流を図る。</p> <p>3. 実施対象</p> <p>①防災甲子園イベント「BOUSAI CAFE」 対象：大学生 50 名</p>
---------	--



<実施の様子>



②岡山県立倉敷青陵高等学校生徒

対象：高校生 60名

<実施の様子>



③岡山大学教育学部授業受講生

対象：大学生 70名

<実施の様子>



得られた成果

- ・オンライン上においても、防災ダンスを実践する2つの方法（オンデマンド型、リアルタイム双方向型）を確立することができた。
- ・オンライン実践にあたり、今後教育現場で課題となるであろう実技系科目のICTの活用について議論する機会が増えた。
- ・防災ダンスをオンライン上で実践することで、「(場所は離れているけれど、) みんなで一緒に取り組んでいる気持ちになった。」などの感想がみられ、人々につながりを実感させることができた。

どのくらい身につきましたか？

知識・技能

かなり

思考力・判断力・表現力

大いに

	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦勞・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本活動の実施方法では、指導者は学習者に声掛けしながら、音楽を用いて実践するため、指導者側は静かな環境を確保することが必要である。また、zoom における音声設定など、ある程度パソコンに詳しい学生が必要である。</li> <li>・自宅で実施する人も多いため、近隣住民への迷惑とならないよう、動きを変更するなど、配慮する必要がある。</li> </ul>	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	
関係者の説明	
関係者の連絡先	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	全国のオンライン防災教育に取り組む指導者
伝えたい内容	<p>オンラインを用い、さらにはリアルタイムで画面越しに学習者に身体を動かしながら学んでもらう本取り組みは、実践前は上手くいかどうか大変不安な状況でした。しかし、実際に取り組んでみると、想像以上に学習者から肯定的な反応がありました。画面越しでも、実践的な防災教育が実施できる一事例になったと考えています。皆さんも、ぜひオンラインを用いた実践的な防災教育に取り組んでみてください。</p>

記入日	西暦 2022 年 1 月 21 日 (2021 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	岡山大学教育学部・酒向研究室
実践番号	3
タイトル	ぼうさい PiPit! ダンスに関する学術論文の執筆・投稿
実践担当者のお名前	吉村利佐子

実践にかかった金額	1 万円未満
実践の準備にかかった時間	数ヶ月
実践活動を実施した日時	西暦 2020 年 6 月～西暦 2021 年 9 月
実践の所要時間	—
実践の運営側で動いた人の人数	6 人
防災教育の対象者の属性	大学生
防災教育の対象者の人数	147 人
実践を行った都道府県と市区町村	岡山県
実践を行った具体的な場所	オンライン・岡山大学
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	・防災教育の専門家 (本学の防災研究を専門とする教員) ・統計分析の専門家 (本学の統計分析を専門とする教員)

達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■教材「ぼうさい PiPit! ダンス」の学術的観点による効果検証</li> <li>■学びの手段としてのダンスの機能についての論述</li> </ul>	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
実践内容・方法	<p style="text-align: center;"><b>【概要】</b></p> <p>開発した教材「ぼうさい PiPit! ダンス」に関する 2 本の学術論文を執筆、投稿した。それぞれの題目・掲載誌等の内容は、以下の通りである。</p> <p><u>論文①ダンスを用いた防災教育教材が防災活動イメージに及ぼす影響</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全教育学研究 (第 21 巻第 1 号 p.45-59;2021 年)</li> <li>・査読付き</li> </ul> <p><u>論文②ダンスを用いた社会課題の解決の試みー防災ダンス教材『ぼうさ</u></p>	

『PiPit! ダンス』の開発ー

・岡山大学大学院教育学研究科研究収録(第178号 p.69-79;2021年)

【論文①】

ダンスを用いた防災教育教材が防災活動イメージに及ぼす影響

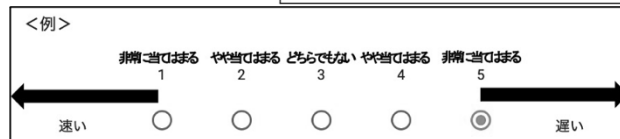
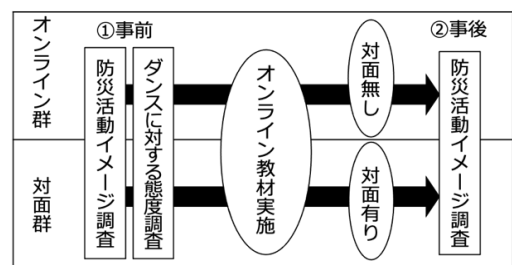
■研究概要

「堅苦しい」など負のイメージが強いとされる防災活動のイメージが、「防災ダンス」を学ぶことでどのように変容するかについての研究を行った。

■研究方法

大学生147名を対象に、開発した「防災ダンス」をオンラインでの映像のみによる学習を行う群(オンライン群)と、オンラインでの学習に対面での実施を加えた学習を行う群(対面群)に分けて、学習前後の防災活動に対するイメージへの影響を比較した。

イメージの測定には、形容詞 研究手続きの図 対を用いてイメージを測定するSD法を使用した。( \*SD法はOsgoodにより言葉の意味を測定するために開発された手法で、その後は色彩や図形、音楽や絵画など、人々が対象をめぐって表象する情緒的イメージを測定する方法として利用されているものである。)



SD法による回答の例

■研究結果

実験の結果、「防災ダンス」は学習者の防災活動のイメージを肯定的に変容させること、さらには、オンラインだけでなく対面による実施を加

えることで学習者の防災活動に対するイメージをより肯定的に変容させることが明らかになった。

### 【論文②】

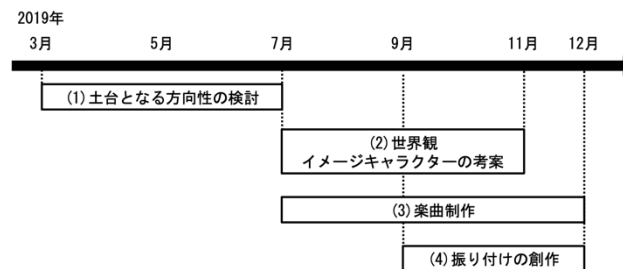
## ダンスを用いた社会課題の解決の試み －防災ダンス教材『ぼうさい PiPit ! ダンス』の開発－

### ■ 研究概要

大学を中心としたダンスを用いた社会課題解決の取り組みは全国的に見ても少なく、防災ダンスの活動は先駆的な取り組み事例である。本稿では、特に教材の開発に焦点をあて、その制作過程を踏まえつつ、教材の全体的な方向性・学習内容・振り付け・音楽の特徴を整理・分析を行なうことで、今後のダンスを用いた地域社会の課題解決に関する基礎的資料を得ることを目的とした。

### ■ 防災ダンスの開発

教材の開発過程は主に次の4つの段階に分けられる。



#### 教材の開発プロセス

- (1) 教材の土台となる方向性の検討
- (2) 世界観及びイメージキャラクターの考案
- (3) 楽曲制作
- (4) 振り付けの創作

\* これらの記述内容の詳細は、岡山大学学術成果リポジトリより閲覧可能である。URL↓

[https://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/files/public/6/63019/20211220140215300871/bgeou\\_178\\_069\\_079.pdf](https://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/files/public/6/63019/20211220140215300871/bgeou_178_069_079.pdf)

得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 防災ダンスを実施することで、学習者の防災活動に対するイメージが肯定的に変容することを、学術的に効果を示すことができた。</li> <li>■ 論文①については、査読審査を経て、学術論文誌に掲載された。</li> <li>■ 執筆プロセスを経て、防災ダンスの取り組みの社会的意義について学生自身が言語化し、学ぶことができた。</li> </ul>	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦勞・工夫	「ダンス」と「防災」という他領域の混同である「防災ダンス」について、両方の観点から社会的意義を論述する点で苦勞した。	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	
関係者の説明	
関係者の連絡先	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	
伝えたい内容	

記入日	西暦 2022 年 1 月 21 日 (2021 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	岡山大学教育学部・酒向研究室
実践番号	4
タイトル	映像教材の撮影・DVD 制作
実践担当者のお名前	吉村利佐子

実践にかかった金額	100 万円未満
実践の準備にかかった時間	数ヶ月
実践活動を実施した日時	西暦 2021 年 10 月 3 日 8 時 30 分～西暦 2021 年 10 月 3 日 17 時 (撮影日)
実践の所要時間	8.5 時間 (撮影時間)
実践の運営側で動いた人の人数	10 人
防災教育の対象者の属性	小学生・保護者・防災関係者・その他 (映像制作会社)
防災教育の対象者の人数	約 10 人
実践を行った都道府県と市区町村	岡山県岡山市北区
実践を行った具体的な場所	岡山大学教育学部体育棟 2 階ダンス室
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像撮影、編集の専門家</li> <li>・撮影に慣れている子役</li> <li>・映像編集ソフト</li> <li>・撮影機材 (クロマキー布など)</li> </ul>

達成目標	防災ダンスを広く普及啓発するため、映像教材を収録した DVD を制作する。また、制作を進める際には、DVD を使用する学習者や指導者が「使いやすさ」を感じることができるよう、工夫する。	
どの力を身につけようとしてきましたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに

実践内容・方法

【撮影準備：2021年9月】

■クロマキースタジオのセッティング



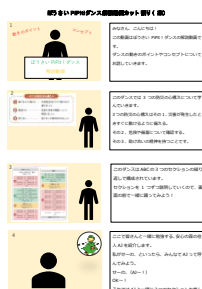
↑セッティング前の様子



↑セッティング完成時の様子

学習者が見やすい映像を撮影するために、編集時に背景をイラストに変換できるよう、クロマキースタジオをセッティングすることとした。布の調達やセッティングの仕方は運営学生で模索し、撮影前日には、大道具の扱いに慣れている岡山大学演劇部の協力のもと、大掛かりな撮影セットを設置することができた。

■絵コンテの作成・撮影会社との打ち合わせ



↑絵コンテ



↑打ち合わせの様子

撮影する映像の構成や内容については運営学生が絵コンテを作成し、それを元に撮影会社の方と何度も打ち合わせを行った。

■衣装制作



映像に出演する子供達の衣装は、学生メンバーによる手作りで制作した。

←撮影前日に完成した衣装

【映像撮影：2021年10月3日】



### ■参加者

- ・映像撮影：株式会社びより 3名
- ・教員：2名
- ・運営学生：6名
- ・出演者：子供5名、大学生2名
- ・見学：保護者10名、こくみん共済 coop 2名

### ■撮影時の様子

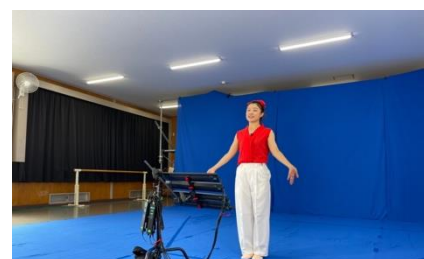
↑照明機材の設置



↑こくみん共済のピットくんと



子供たち ↑子供たちと練習する様子



↑振付解説動画の撮影



映像撮影は、早朝から夕方までの長時間のスケジュールで行った。午前中は、教材の学習内容と共にダンスの踊り方を解説する「振付解説動画」の撮影を行なった。この動画には、運営学生を中心メンバーである蕨井が指導者として出演し、学習者に伝わりやすい話し方や文言を撮影直前まで模索する様子が見られた。午後は、実写版PVと通し動画に出演する子供らとその保護者、そして、こくみん共済 coopの方が揃い、感染対策を徹底した上で、撮影を行なった。

子供から企業の方など様々な人々が防災ダンスを介して交流する、コロナ禍における貴重な機会となった。

**【映像編集・DVDプレス：2021年10月～2022年1月】**

■ DVD 収録内容

DVD には、最終的に以下 1～7 を集録することとした。

1. アニメ版 PV (3分)      2. 実写版 PV (3分)



3. 振付解説動

- 画 (10分)      4. 通し動画 (3分)



5. 高齢者版 (3分)

6. 高齢者版 [椅子] (3分)



7. メイキング (9分)

■ 映像編集

上記の映像制作は、学生が何度も打ち合わせを重ねてデザイン案を考案し、映像制作会社の株式会社びよりと、アニメーション制作のはぎわら万砂子さん( balan size japan )の協力のもと、編集作業を進めた。特にこだわった点としては、「学習者の取り組みやすさ」を重視した点である。画面のレイアウトや文字の大きさ、声の間こえやすさなど、試行錯誤を重ねて編集作業を行なった。

■ DVD の配布予定先

完成した DVD は、まずは教育委員会の支援のもとで、岡山県内の幼稚園・保育園に一斉配布を予定している。長期的には、その他の学校教育現場や企業、公民館などでの配布を計画している。

得られた成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・撮影に参加した子供達や保護者にとって、家族と防災について話し合うきっかけになった。</li> <li>・撮影時は、コロナ禍ではあったものの、感染対策をした上で、子供から企業の方まで幅広い世代が防災を通じて交流する貴重な機会となった。</li> <li>・映像会社やアニメーション制作会社と連携しながらの編集作業において、学生のコミュニケーションスキルの向上が伺えた。</li> </ul>	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦労・工夫		

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	株式会社びより
関係者の説明	映像の撮影および編集に関わっていただきました。
関係者の連絡先	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	はぎわら 万砂子（ balan size ・ ジャパン ）
関係者の説明	アニメーション制作をしていただきました。
関係者の連絡先	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	
伝えたい内容	

記入日	西暦 2022 年 1 月 18 日 (2021 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	岡山大学教育学部酒向研究室
実践番号	5
タイトル	防災ダンスの実践に関する指導書及び学習者向けの防災リーフレットの作成
実践担当者のお名前	河島駿

実践にかかった金額	15 万円未満
実践の準備にかかった時間	数ヶ月
実践活動を実施した日時	西暦 2021 年 5 月～西暦 2022 年 1 月 17 日
実践の所要時間	算出不能
実践の運営側で動いた人の人数	7 人
防災教育の対象者の属性	全ての人々
防災教育の対象者の人数	1000 部配布予定
実践を行った都道府県と市区町村	岡山県岡山市
実践を行った具体的な場所	岡山市立平井小学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災士</li> <li>・ 編集ソフト (イラストレーター)</li> <li>・ 防災に関する文献・資料</li> </ul>

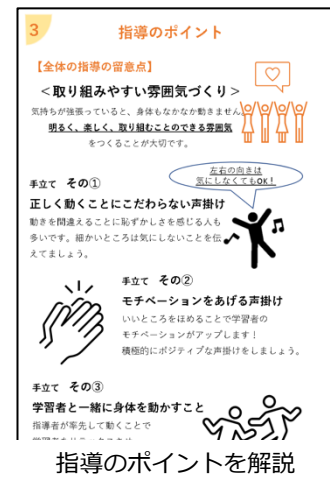
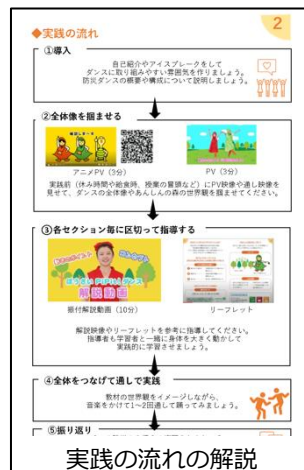
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校現場や地域公民館等での防災教育を行う際に、指導者の一助になることを目的に指導者が①使いやすい②指導準備の緩和 となる指導書の作成を目指す</li> <li>・ リーフレットを通じ、地域の人々が日常生活の中で防災に関する知識を気軽に学んでもらうことを目指す</li> </ul>	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	少し

## 実践内容・方法

## 【ぼうさい PiPit!ダンスに関する指導書】

現場の教員による防災教育コンテンツを用いた授業実践が、今後の教育現場への普及啓発を行なっていくうえで鍵となると考えた。

2021年3月、岡山市立平井小学校において教員主導による防災コンテンツを用いた防災教育授業が実施された。授業実践を行うにあたって、事前に現場の教員へヒヤリングを行い、教員の要望を元に授業の指導案や補助教材を作成した。また授業実施後に教員に防災教育コンテンツに対する意見や改善点などを伺った。




これら一連の活動によって、①指導者が取り組みやすく、②授業準備の負担を減らすことのできる指導書の作成のための重要な知見を得た。具体的に、映像教材の効果的な使用方法や指導方法の明確化などが挙げられる。これら現場教員による知見とこれまでの活動で培った実践知を元に指導書を作成した。

作成した指導書は学校教育現場のみならず、地域社会への配布すること検討しており、これらを用いることで防災コンテンツの普及や指導者育成を促進することを目的とする。

## 【防災リーフレット】

学習者に易しく、防災に関する知識を深めることを目的とした。

防災ダンスの歌詞や動きの解説に加え、防災ダンスで学んでもらう防災の3つの心構え（共助・Shake Out・周囲の危険や備蓄の確認）についてそれぞれイラストや具体的な事例を用いるなど、子ども達が分かりやすい内容を取り入れた。

	 <p>リーフレットは学校現場の他、指導書と同様に地域の自治体や企業への配布し、それらを用いた防災教育の実施も検討している。</p>						
<p>得られた成果</p>	<p>・学校教諭の防災教育に対する考えや、行うに当たっての実態や課題について知見を得ることができた。</p>						
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<table border="1"> <tr> <td>知識・技能</td> <td>かなり</td> </tr> <tr> <td>思考力・判断力・表現力</td> <td>かなり</td> </tr> <tr> <td>学びに向かう力・人間性</td> <td>少し</td> </tr> </table>	知識・技能	かなり	思考力・判断力・表現力	かなり	学びに向かう力・人間性	少し
知識・技能	かなり						
思考力・判断力・表現力	かなり						
学びに向かう力・人間性	少し						
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<p>・それぞれコンテンツを作成するにあたって、学校現場や地域企業などそれぞれ実施先の視点に立ち、防災に対する現状や課題を把握する必要がある。</p> <p>・作成した指導書等を今後教育現場や地域へ配布し、どのような効果があるかを検討し継続する必要がある。</p>						

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	
関係者の説明	
関係者の連絡先	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	
伝えたい内容	